

トピックス **ぶらす**

4/12~5/10

150匹のこいのぼりが大空を泳ぐ

4月12日から5月10日まで、浅水コミュニティ運営協議会の主催により、中田町浅水地区のサイクリングロードへのアクセス道路約200mに、大小さまざまなこいのぼり約150匹が揚げられ、心地よい風に揺られて泳いでいました。この事業は子どもたちが元気に成長することを願い、平成6年から毎年続けられており、今年で15年目となっています。



▲気持ちよく泳ぐこいのぼりの姿が見られました

4/19

伊豆沼の環境改善へ役立てて

宮城・岩手国際ロータリー第2520地区地区大会（八谷郁夫代表）が4月19日、登米祝祭劇場で開催されました。大会では、エッセイストの福島敦子さんを講師にお招きして記念講演が行われました。また式典では、国際ロータリー2520地区から市に伊豆沼および長沼の環境保全に役立ててほしいと100万円が寄贈されました。



▲開会式においてあいさつを述べる布施実行委員長

4/30~5/5

登米市民の力作がズラリ

第4回登米市民ふれあい美術展「登展」（登展実行委員会、(財)登米文化振興財団主催）が4月30日から5月5日まで、登米祝祭劇場で開催されました。美術展には、幅広い年齢層の市民の皆さん42人が、水墨・水彩・油彩画などの力作62作品を出展。そのほか、ポスターの原画、各種展示会の入賞作品などの特別展示もあり、大勢の人が訪れていました。



▲市民の力作62作品と特別展示11作品が展示された登展

5/4

狙うは的一点

第9回みやぎ弓の里A1カップが5月4日、東和総合運動公園で開催され、東北地方や関東地方各県から一般・少年男女ら約172人が出場し、日ごろ鍛えた技を競い合いました。参加した選手は4種目ごとに分かれ、風や角度などを計算しながら30mから90m先の直径80cmのわずかな的をめがけ矢を放っていました。



▲色ごとに分けられた矢で得点を確認し合う選手たち

取れたてイチゴはおいしいね

豊里子育て支援センターでイチゴ狩り体験

豊里子育て支援センターで5月15日、40人の幼児と保護者の皆さんが米山町の稲場久さん宅で「イチゴ狩り」を体験しました。イチゴハウスの外は曇り空で少し肌寒かったのですが、ハウスの中はとても暖かく、イチゴの甘酸っぱい香りが広がっていました。参加した子どもたちはたくさんのイチゴに最初はびっくりしていましたが、慣れてくると大きなイチゴを見つけるたびに歓声を上げていました。自分たちで採ったイチゴはとても美味しかったようで、口の周りを真っ赤にしてほおぼっていました。



▲とてもおいしかったようで、誰もが5、6個ぐらいいは食べていました

交流を通して食生活を考える

津山で授業交流会・食育教室実施



▲明成高校調理科の生徒に正しいはしの使い方を学ぶ横山小児童

正しいはしの使い方を通して交流を図り、食生活を見直そうと、横山小学校と仙台の明成高校調理科の授業交流会が4月26日、横山小ランチルームで行われました。当日は、横山小の全児童が参加し、明成高校調理科の生徒が、豆を使った正しいはしの持ち方の練習方法を教えたり、食育紙芝居「お豆の気持ち」などを使って楽しく交流が行われたました。また、津山木工芸品事業協同組合から横山小学校の全児童に木のはしが贈られ、児童達は贈られたはしを使って正しい持ち方を楽しみながら学んでいました。

アフリカに支援米を送ろう

石越で手作業での支援米の田植え

食糧不足に悩んでいるアフリカのマリに支援米を送ろうと5月18日、遠沢地区子ども会・育成会などから約40人が参加し、昔ながらの手作業で田植えが行われました。当日は、開会式の後、遠沢地区内のアフリカ支援米学習田8m²に移動、作業が始まると参加者は横一列に並び、手際よく田植えを行いました。参加した子どもたちは、慣れないぬかるみに足を取られ四苦八苦しながらも、心を込めて苗を一株ずつ丁寧に植えていました。今回植えられた支援米は秋の収穫を待ってアフリカに送られます。



▲手作業での田植えにとまどいながらも丁寧に植えていました